

RV34xのファームウェア自動フォールバックメカニズム

目的

この記事の目的は、RV34xシリーズルータのファームウェアの自動フォールバックメカニズムについて説明することです。

該当するデバイス | ソフトウェアバージョン

- RV34x | 1.0.03.28(最新バージョンを[ダウンロード](#))

概要

RV34xシリーズルータには、自動フォールバックメカニズムを提供するために、フラッシュに2つのファームウェアイメージが含まれています。RV34xルータで実行されているアクティブファームウェアバージョンに問題が発生している場合は、自動フォールバックメカニズムを使用して以前のバージョンに戻すことができます。

ルータがアップデートされると、ルータで実行されていた以前のファームウェアバージョンは非アクティブイメージとして保持されます。ルータが連続して5回ブートに失敗した場合、これはファームウェアの問題と解釈され、ルータは非アクティブイメージに戻ってブートします。

詳細を見つけるために読み続ける！

ファームウェアの自動フォールバック方式

手順 1

ルータの電源を入れます。5秒待ちます。ルータの電源を切り、5秒間待ちます。

手順 2

ルータの電源を入れます。5秒待ちます。ルータの電源を切り、5秒間待ちます。

手順 3

ルータの電源を入れます。5秒待ちます。ルータの電源を切り、5秒間待ちます。

手順 4

ルータの電源を入れます。5秒待ちます。ルータの電源を切り、5秒間待ちます。

手順 5

ルータの電源を入れます。5秒待ちます。ルータの電源を切り、5秒間待ちます。

手順 6

ルータの電源を入れ、デバイスを起動します。

ステップ7

セカンダリまたは非アクティブのファームウェアで起動した後、アクティブなファームウェアに問題がないかどうかを確認します。

手順 8

必要に応じて、新しいファームウェアをリロードします。

結論

あそこだ！ファームウェアの自動フォールバックのメカニズムと実行手順について理解しました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。